

## ▶▶ 広島県広島市

「平和への思いを共有するまち」  
の実現のために

広島市は、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を世界に訴えていくとともに、廃墟から復興した平和と希望の象徴であり続ける必要があります。そのためには、広島を訪れる世界の人々に対し、被爆者の体験や平和への思いなどの被爆の実相を、守り、広め、伝えていくことが重要です。

広島市では、平和の推進などを目的としていただいたふるさと納税を「広島市原爆ドーム保存事業等基金」に積み立て、原爆ドーム保存事業のほか、被爆建物・被爆樹木等の保存・継承、

被爆資料の劣化防止、国内外の青少年の招へいなどを行っています。また、広島平和記念資料館の図録や、平和記念公園に捧げられた折り鶴を再生して作られた名刺やメモ帳、絵はがきなどを寄附者に届けています。



1996（平成8）年12月、  
世界遺産に登録された原爆ドーム



平和記念公園の「原爆の子の像」に  
捧げられた折り鶴を再生した名刺

注力した点や  
工夫した点

折り鶴を捧げた人々の平和を願う思いを、折り鶴から再生製品へ形を変えて寄附者へ届けることで、その思いが共有・継承されていくことを願っています。

## Check

## 取組の効果

ふるさと納税により、直近では、被爆建物である広島市水道資料館の耐震改修、被爆樹木のモニタリング調査、樹勢回復措置の実施のほか、市内の被爆建物や被爆樹木の見学ツアーを開催することができました。また、被爆前の広島を撮影した映像をデジタル化し、インターネット上で公開することで、原爆による被害の大きさを視覚的に分かりやすくする取組などを通じて広く周知を行いました。



被爆樹木の樹勢回復事業



平和首長会議加盟都市の青少年交流

さらに、世界の平和首長会議加盟都市の若手職員等をインターンとして市の平和行政に従事してもらうとともに、国内外の青少年や自治体職員が、被爆者の体験や平和への思いを共に学び、交流する機会を創出しました。

## 寄附者の声



・広島を訪れる国内外からの沢山のの方に、平和が一番幸せだと改めて発信し続けて欲しいです。

## 住民の声



・折り鶴再生製品の製作には、障がい者の方も作業に加わっており、全国の皆様にお送りできることを励みに作業にあたっています。（事業者）